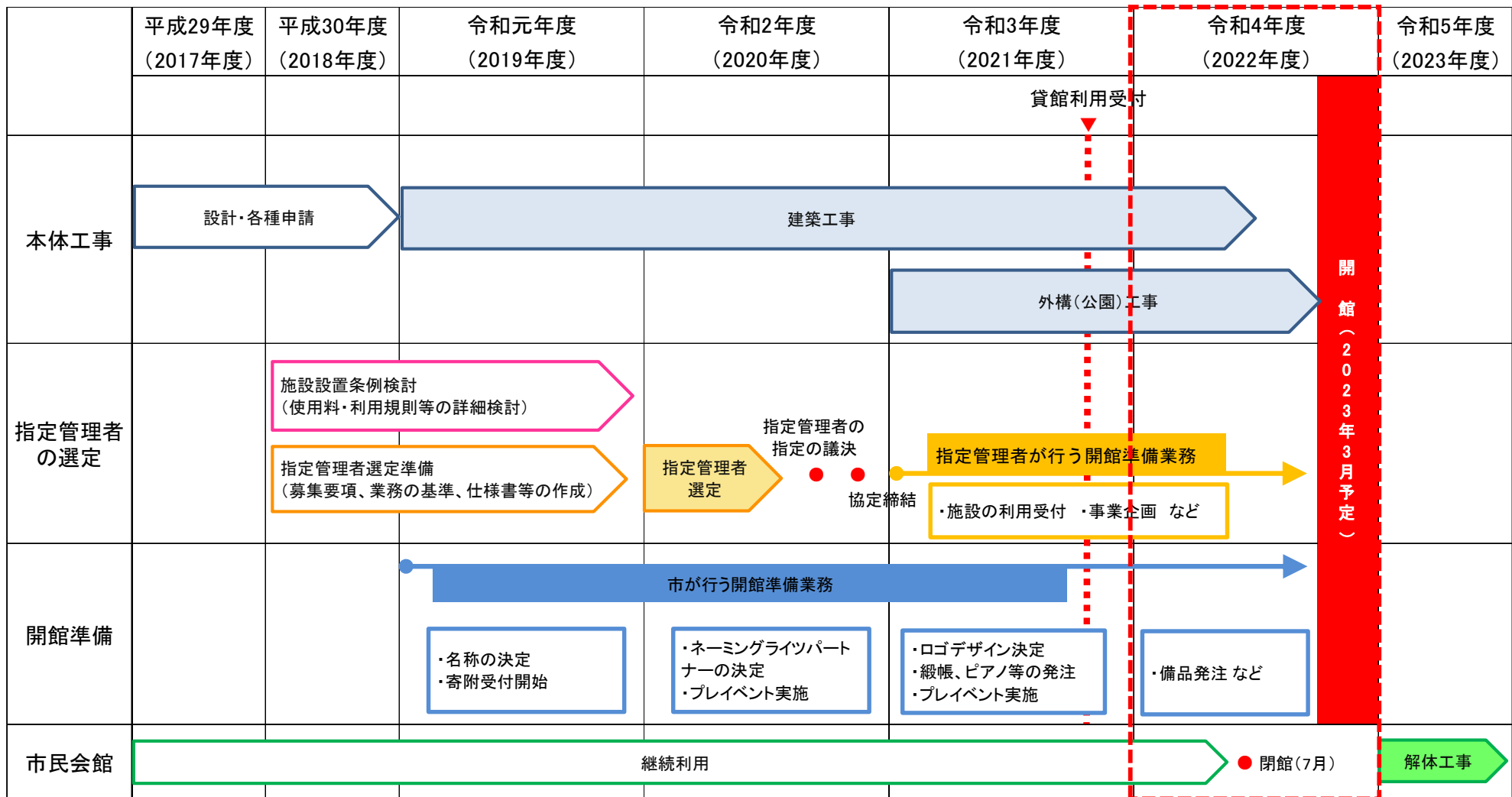


# 「高槻城公園 芸術文化劇場」 整備の取組について



令和 4 年 9 月

# 1 スケジュール



## 2 工事の進捗状況

- ・ 令和元年（2019年）11月に新築工事に着工
- ・ 令和4年（2022年）8月末竣工、令和5年（2023年）3月開館予定

工事現場全体（市民会館屋上から撮影）



トリシマホール客席



太陽ファルマテックホール客席





### 3 カフェ事業者の決定

高槻城公園芸術文化劇場メインエントランスに位置するカフェの運営事業者が米国ニューヨーク・マンハッタン発の人気ベーカリー&カフェ「THE CITY BAKERY」を手掛ける株式会社フォンスに決定

#### 1 運営事業者

名称：株式会社フォンス（店舗名：THE CITY BAKERY）

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1075-47

2 運営期間 10年

3 店舗内容 ベーカリー&カフェ



THE CITY  
BAKERY

# 4 開館記念イベント

「高槻城公園芸術文化劇場」の開館記念イベントとして、閉館した「高槻現代劇場 市民会館」を活用し、国内外で活躍するアーティストによるアートイベント「高槻芸術時間『インターラード』」を9月に開催



高槻城公園芸術文化劇場 開館記念イベント **高槻芸術時間** インターラード

参加無料

参加作家 **うめだ てつや 梅田哲也** オランコゾン **orangcosong**

開催場所 高槻現代劇場 市民会館 (2022年7月閉館) および高槻市内

公式WEBサイト <https://inter-lude.net/>

2022 9.17 sat → 9.25 sun

※9月20日(火)は休館

旧劇場空間からはじまる、8日間の特別な展覧会

## 『9月0才』 / 閉館後の市民会館を使用した作品展示



## 『演劇クエスト』 / 高槻の町を探検する遊歩型ツアープロジェクト



京都芸術大学の協力のもと、国内外で高い評価を得るアーティスト梅田哲也（うめだてつや）氏と、藤原ちからと住吉山実里によるアート・コレクティブユニットorangcosong（オランコゾン）による2つの作品で構成

## 5 寄付金の受入状況

**総額 40,230,855円** (令和4年(2022年)8月時点)

区分	令和元年(2019年)度		令和2年(2020年)度		令和3年(2021年)度		令和4年(2022年)度		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人	58	7,670,000	51	4,865,300	79	5,915,555	6	580,000	194	19,030,855
団体	9	490,000	7	4,050,000	3	250,000	1	10,000	20	4,800,000
企業	8	5,000,000	7	3,200,000	24	8,000,000	2	200,000	41	16,400,000
合計	75	13,160,000	65	12,115,300	106	14,165,555	9	790,000	255	40,230,855

### うち企業版ふるさと納税

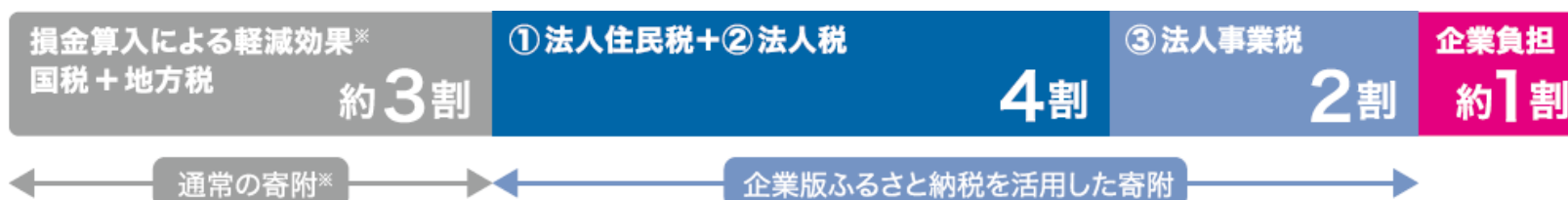
令和元年(2019年)度	令和2年(2020年)度	令和3年(2021年)度	令和4年(2022年)度	計
2,200,000	0	3,500,000	0	5,700,000



# 6-1 企業版ふるさと納税について

## 1. 制度の概要

- ・企業が寄付を通じて、自治体の地域再生計画に掲げられた地方創生プロジェクトへの取組を応援した場合に、税制上の優遇措置を受けることができる制度です。
- ・当事業では、内閣府から「地域再生計画」の認定を受け、企業版ふるさと納税の適用を受けています。



※企業が地方公共団体に寄附した場合は、その全額が損金算入されるため、寄附額の約3割(法人実効税率)相当額の税の軽減効果があります。

## 2. これまでの経過について

平成31年3月29日	地域再生計画「文化芸術振興による交流促進」の認定
令和元年6月	寄付金の受付開始
令和2年8月31日	高槻市文化振興審議会 令和元年度の進捗状況の報告・評価
令和3年8月	高槻市文化振興審議会 令和2年度の進捗状況の報告・評価
令和4年9月	高槻市文化振興審議会 令和3年度の進捗状況の報告・評価

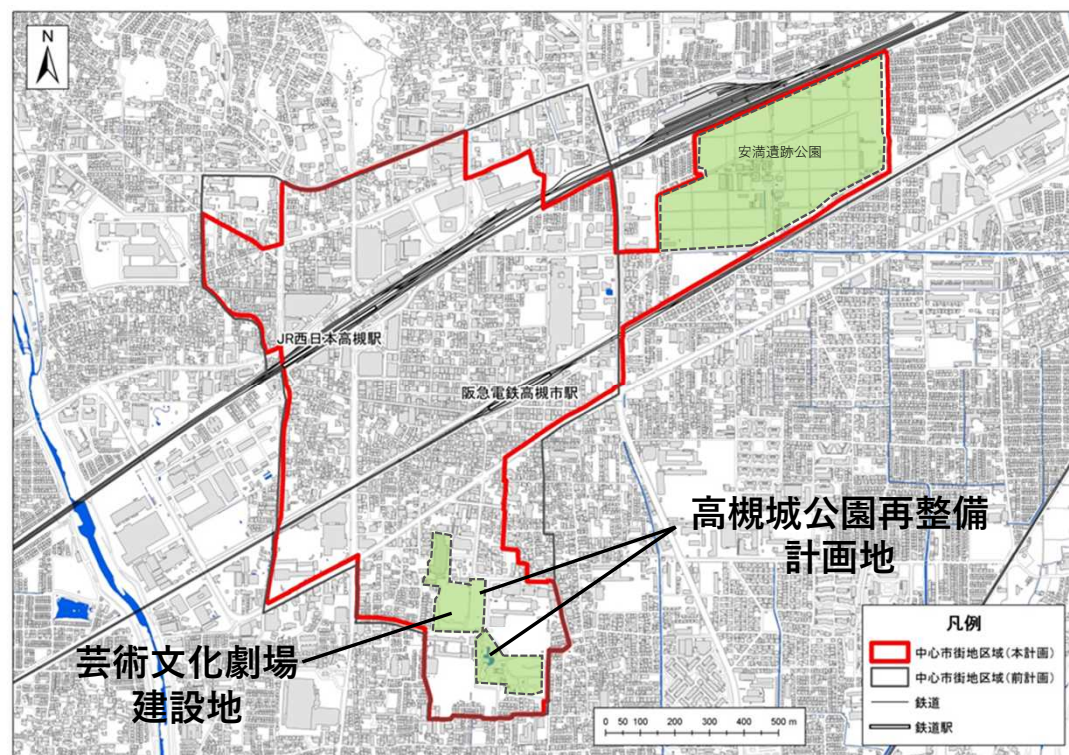
## 6-2 「地域再生計画」の概要

### 計画名称「文化芸術振興による交流促進」

計画期間	平成31年(2019年)度 ～令和4年(2022年)度
事業の内容	芸術文化劇場及び高槻城公園の整備を行うことで、阪急南側の集客力の強化を図り、中心市街地の交流人口の増加を目標とする。
評価指標	①歴史文化施設の年間来館者数(※) ②エリア内の歩行者・自転車通行量  ※市民会館又は芸術文化劇場のホール、しろあと歴史館の来館者数
事業の評価方法	毎年度8月頃の文化振興審議会において進捗状況の評価を行い、ホームページで公開

### 計画区域

市の中心市街地活性化基本計画で定めるエリア（安満遺跡公園、高槻城公園を含む、JR高槻駅・阪急高槻市駅周辺のエリア）





## 6-3 評価指標の達成状況

評価指標 (KPI)	①歴史・文化施設の 年間利用者数	②中心市街地の歩行者・ 自転車通行量	基準年月
当初	161,601人/年	72,970人/日	①平成28年(2016年)3月 ②平成30年(2018年)3月
令和元年(2019年)度 実績	139,320人/年	80,315人/日	令和2年(2020年)3月
令和2年(2020年)度 実績	32,696人/年	73,097人/日	令和3年(2021年)3月
令和3年(2021年)度 実績	45,624人/年	68,108人/日	令和4年(2022年)3月
令和4年(2022年)度 実績			
令和4年(2022年)度 目標値	197,000人	77,300人/日	令和5年(2023年)3月

※文化振興審議会に諮った上で、上記の表を毎年度ホームページで公表します。

市の中心市街地活性化基本計画における評価を踏まえた本計画での各指標の評価は以下のとおり。

### <評価指標①>

#### 歴史・文化施設の年間利用者数

令和3年度の実績は45,624人/年となり、対前年比では増加しているものの、目標値を大幅に下回る結果となっている。これは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により施設の臨時休館や利用人数制限などの外出自粛要請が長く続いたため、外出・施設利用の意欲の低下が原因と考えられる。

### <評価指標②>

#### 歩行者・自転車通行量

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響等が大きく、目標値を下回る68,108人/日という結果となった。令和3年度は令和2年度に比較して不要不急の外出自粛意識の高まりが大きく影響したと考えられる。